

レボフロキサシン錠

250mg・500mg「ニプロ」
を服用される患者さんへ

三重大学大学院医学系研究科 臨床薬剤学 教授
奥田 真弘 先生

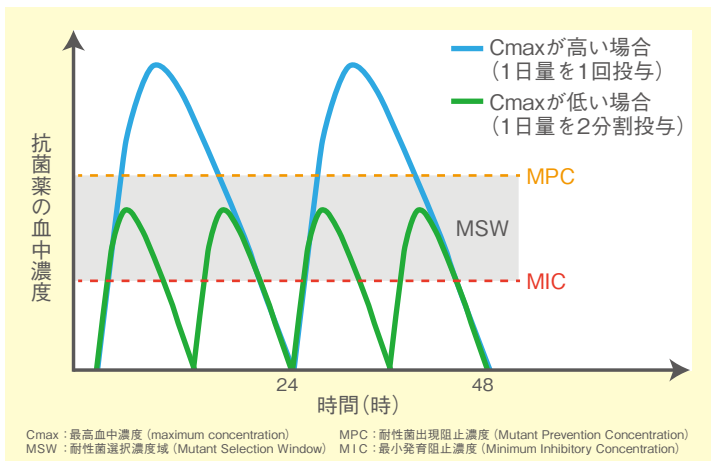


 NIPRO

指導箋は1枚ずつはがしてご使用ください

レボフロキサシン錠 250mg・500mg「ニプロ」を ご使用になれる先生方へ

レボフロキサシン500mg 1日1回投与は、PK-PD理論に基づき「**治療効果の向上**」と「**耐性菌の出現抑制**」を目指した投与方法です。患者さんには、先生方が指示した量を1日1回きちんと服用するようお伝えください。



図：濃度依存性抗生薬の血中濃度推移の概念図¹⁾

1) 渡辺彰ほか：PK-PDは難しくない！抗生薬PK-PD実践テクニック，2011．p.143，南江堂より改変

レボフロキサシンは濃度依存性に殺菌作用を示します。MPCを上回るCmaxを得ることで治療効果の向上と耐性菌の出現抑制が期待できます。

レボフロキサシン錠 250mg・500mg「ニプロ」を 服用される患者さんへ

錠250mg



錠500mg



このお薬は、感染時に細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
医師または薬剤師の指示に従い、正しく服用してください。

1日1回 服用

毎日

に服用

このお薬は「1日1回」きちんと服用
することで、病原菌を早く消失させて
症状の改善が期待できます。

裏面もお読みください



このお薬を服用するときの注意点

- このお薬は、必ず「**1日1回**」服用してください。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く1回分を服用してください。ただし、次の服用時間が近い場合(8時間未満)は服用せず、次の服用時間に1回分服用してください。
- 絶対に2回分を一度に服用してはいけません。**
- 間違えて多く服用した場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、ご自分の判断で服用する回数や量を変更したり、服用を止めないでください。

その他わからないことや気になることがありましたら、
医師または薬剤師にご相談ください。

施設名

